

さ つづ あか はな
咲き続ける赤い花に
くわ はな
加わった花！

三浦トピックス

第136号

自然教室の様子

(100)

発行者
清泉小学校
自然教室

ヘクソカズラ



サルスベリ



ヒガンバナ



ミズヒキ



オシロイバナ



131号でアベリアやヤブミヨウガなど夏の間も咲き続けた白い花を紹介しましたが、咲き続けている赤い花もあります。106号で紹介したサルスベリですが、百日紅の別名通り7月から赤い花が咲き続けています。カキ畑の奥は少し隠れていますが、いずみ広場の向かい側は目につきます。96号や127号で紹介したヘクソカズラの花も7月上旬から咲き続けています。可憐な花を見ると散々な名前がかわいそうになります。6月中旬の78号で紹介したオシロイバナも第2駐車場に咲いています。赤い花びらに見えるのは実は萼です。78号や124号で紹介したミズヒキもきぼうの道などの日陰に咲き続けています。紅白の花なのですが赤の方が目立ちます。9月に入るとこれらの赤い花々に加わってきたのがヒガンバナです。今は、畑の隅にひっそりと咲いていますがこの後、至る所に顔を出してきます。別名のマンジュシヤゲは、サンスクリット語でまさに「赤い花」という意味です。帰化植物ですが、古くから秋の日本の原風景を描いてきています。